



西宮港工区(ニールセンローゼ橋) の工事概要

Outline of NISHINOMIYA Bridge

川田工業(株)・四国工場

1. 概要

西宮港橋は、図-1に示すように阪神高速道路公団・兵庫県道高速湾岸線の深江浜～鳴尾浜間(約6.8 km)のほぼ中央に位置し、西宮埋立地と甲子園浜埋立地間を連絡する橋梁である。橋脚位置が航路幅(約200 m)および基礎規模による港湾護岸との関連で決定され、その支間は252 mに及んでいる。

本橋の橋梁形式は、この航路を1スパンで渡河し得る形式として検討がなされ、経済性、構造的性、景観などにより、図-2に示すバスケットハンドルタイプのニールセンローゼ橋が選定された。

この工区では、高速湾岸線の有効利用のために埋立地間を結ぶ湾岸側道が計画されており、本橋では、この側道と本線のための橋梁が一体構造として計画されている。

本橋の架設は、航路上に架設されるという条件によりフローティングクレーンによる一括架設で計画されてお

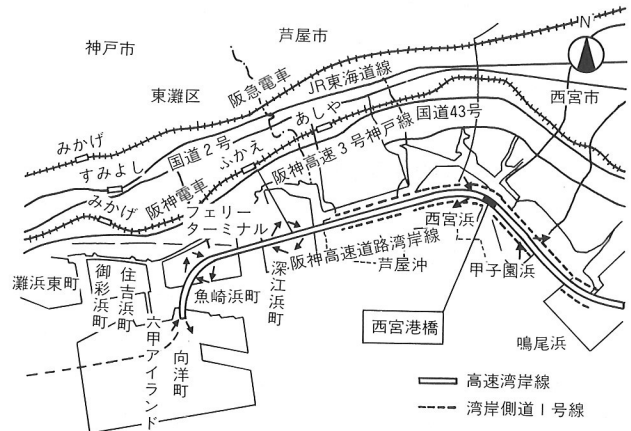


図-1 位置図

り、架設重量の都合により3500 tクラスフローティングクレーン3隻による合い吊りで架設される。

2. 主要諸元

道路規格：本線 第2種第1級

側道 第4種第1級

橋梁形式：鋼ニールセンローゼ橋

支間長：252 m

幅員：本線 12.825 m

側道 7.5 m

鋼重：7140 t

鋼材：SM570, SM490Y, SS400

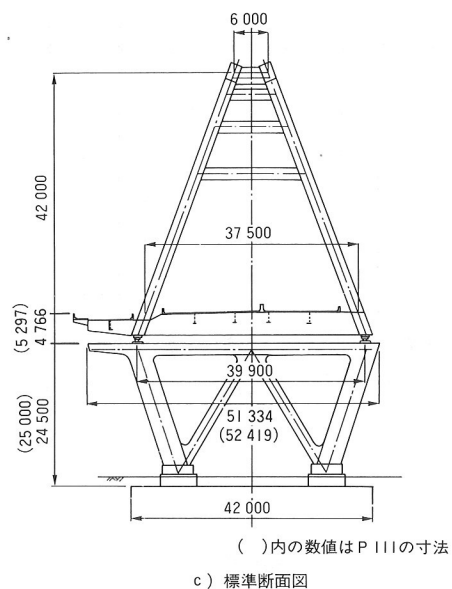
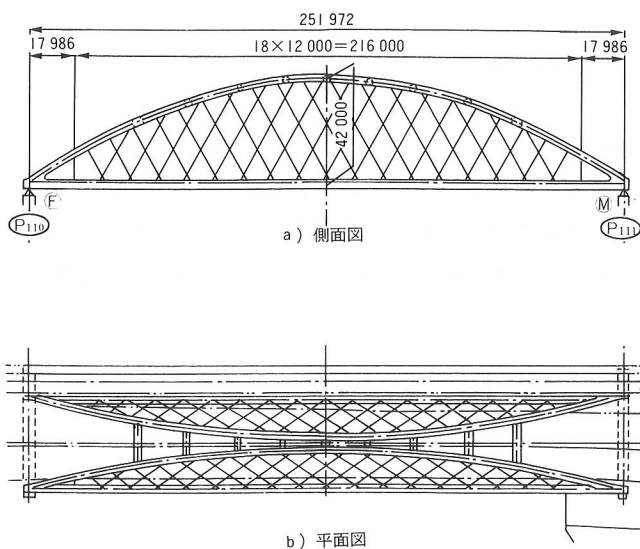


図-2 橋梁一般図

(文責・内田修平)